

## 仕上り外径

仕上り外径とは、絶縁層を含む線径です。

JISでは、絶縁層の厚みが規定されており、銅線を作るLotによってばらつきがあります。

なのでJISに定められている最大外径と最小被膜の値から、その平均値をとり、  
”平均仕上がり外径”と呼んでいます。

巻線仕様（コイル断面の幅や高さ）を考える時、  
この平均仕上がり外径の寸法を使って計算します。

仕上り外径の外周に、熱やアルコールを加えることで、  
電線同士を接着させることができる融着層と言う薄膜を塗布した電線もあります。  
この融着層の厚さは、絶縁層よりも薄いため、巻線仕様の計算では無視できます。

通常、単に線径と言う場合は導体径を指します。

